

おおてみち

第95号

平成28年(2016年)3月31日
滋賀県立安土城考古博物館

信長の 家臣たち

平成28年春季特別展



平成28年4月29日(金祝) - 6月5日(日)

開館時間…午前9時～午後5時 ※ただし、入館は午後4時30分まで

休館日…月曜日 ※ただし5月2日は開館

入館料…大人890円(680円) / 高大生630円(460円)

小中生410円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)450円(340円)

※()は20人以上の団体料金です。※「信長の館」との共通券もあります。

主催…滋賀県立安土城考古博物館 協力…兵庫県立考古博物館

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

企画展示室

第一回滋賀・兵庫博物館連携企画

平成28年春季特別展

信長の家臣たち

会期 平成28年4月29日(金・祝)～6月5日(日)

尾張国守護代の重臣の家に生まれた信長は、尾張を統一して戦国大名となり、次いで美濃を手に入れ、上洛後は天下統一を目指す天下人となつていきます。信長自身の実力はもちろんですが、その下で信長の意を汲み、縦横無尽に奔走した家臣たちの働きもそれを支えていました。父信秀の時代から織田家に仕えていた猛将柴田勝家、同じく古参の宿老である佐久間信盛や丹羽長秀、足軽から中国方面軍司令官へと異例の出世をとげた羽柴秀吉、信長の近習から抜擢されていく前田利家や佐々成政ら、娘婿となつた蒲生氏郷を始めとした近江衆、最後は謀反を起こして信長を討つことになる明智光秀などの武将たち。京都所司代や奉行として政権を支えた村井貞勝ら吏僚や、信長文書の文字を記した右筆もあり、彼らの顔ぶれは実に多彩です。信長の発展・成長に従つて家臣団も変化していきますが、その裏で、それについていけず、粛正・没落・離反した者たちもいました。展覧会では、これら家臣たちの働きを肖像画や絵図・古文書などで紹介するとともに、信長の人材登用術や組織の運用法、その結末を考えたいきます。

主な展示資料

◎は重要文化財 △は県指定文化財

織田信長画像 (近江八幡市浄厳院蔵)

◎細川幽斎夫妻画像 (京都市天授庵蔵)

◎蒲生氏郷画像 (西会津町西光寺蔵)

◎細川藤孝書状―革嶋家文書― (京都市府蔵)

◎太田牛一書状―賀茂別雷神社文書― (京都市賀茂別雷神社蔵)

△佐久間信盛書状―芦浦観音寺文書― (草津市観音寺蔵)

柴田勝家判物 (福井県立歴史博物館蔵)

前田利家判物 (東京大学史料編纂所蔵)

顕如誓詞 (京都大学総合博物館蔵)

立入宗継記―自筆本― (京都市歴史資料館蔵)

関連行事◆記念講演会

「信長家臣時代の秀吉」

日時：五月一日(日)

講師：太田浩司氏(長浜城歴史博物館館長)

「信長の部将たち」

日時：五月二二日(日)

講師：谷口克広氏(歴史研究家)

※定員一四〇名 当日先着順 資料代五〇〇円

関連行事◆城郭探訪

「観音寺城を歩く」日時：五月一四日(土)

※定員二〇名(要予約)参加費二〇〇〇円

「安土城を歩く」日時：五月二八日(土)

※定員三〇名(要予約)参加費一五〇〇円

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 整理調査課

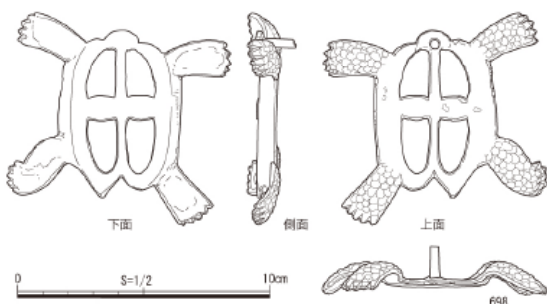
遺跡の姿を未来に語り継ぐもの 基礎資料としての調査報告書の刊行進む！

私たちは遺跡の発掘後、その内容を懸命に整理し、調査報告書として刊行します。平成二十七年に作成した関津城遺跡(大津市)の発掘調査報告書もその一つです。

関津城遺跡は戦国時代の山城です。国道四二二号補助道路の整備工事に伴って調査し、土塁や堀切などの防御施設、建物や井戸、焼失した土蔵跡のほか、調度品や飾金具などの金属製品が見つかりました。

調査員達のお気に入りの一つは左図の(亀)ちゃん。水滴(水差し)の台座だと思われれます。精巧なのに愛嬌のある造形なので、何度も展示しては、お客様にもぜひ楽しんでいただきました。

報告書そのものはかなり専門的なものですが、調査員達はこれらを使つて更に分析を進め、展示や講演会を通して遺跡の姿を語り継いでいきます。失われた遺跡を記録した重要な基礎資料として、報告書は全国の主要な図書館などにも配布されていますので、ぜひ一度手に取ってみて下さい。



滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 2016 『国道422号補助道路整備工事に伴う発掘調査報告書 関津城遺跡』より

平成27年秋季特別展

倭五王海を渡る

会期 平成27年10月17日(土)～11月29日(日)

今回の特別展は、大阪府立近つ飛鳥博物館と第5回滋賀・大阪博物館連携企画として、また、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議の後援を得て計画・開催しました。

「展覧会のテーマとした倭五王とは、五世紀に活躍した倭国(＝日本)の五人の王の総称で、当時の中国・宋に使者を派遣したことで知られています。また、その王たちが活躍した五世紀の日本列島では、多くの渡来人たちが鍛冶の技術や製陶(須恵器)技術、馬の飼育などの先進の技術を伝え、生産力が大きく向上したことも知られています。展覧会は、そうした王たちの活躍を明らかにすることをテーマとしました。

当時の倭国の中枢が、百舌鳥・古市古墳群に代表される河内や大和にあり、その地に営まれた古墳には、当時の最先端を示す中国や朝鮮半島からの伝来品や、大量の武器や武具が副葬されていることをご覧いただきました。また、そうした特徴を持つ古墳は、但馬や信州、そして近江などにも営まれていることも紹介しました。こうした展示を通じて、当時の日本列島では、河内や大和以外でも多くの人々が海外に目を向け、その交流に参加した、そんな活気ある時代であったことを、ご



秋季特別展会場

理解いただけたのではと思っています。

会期中には、白石太一郎先生に、当時の東アジア社会と倭国の関係についてご講演いただき、展覧会をより豊かなものとすることができました。また、古市古墳群のボランティアガイドなどの活動を精力的に行っておられる市民グループの皆さまからは、美しい写真の提供を受け、これをロビーに展示させていただき、展覧会をより豊かなものとすることができました。

(会期中展示室入館者 五、〇五八人)

受講者募集中!

人気の博物館入門講座シリーズ 第2弾!

受講者募集のお知らせです。

滋賀の歴史や文化には、まだまだ謎が多くあります。特に、展示や講座で目や耳にすることは多くても、実は、「少し難しい?」と感ぜられる「謎」も多いのではないのでしょうか。

博物館入門講座は、安土城考古博物館を「もっと楽しく」ご利用いただくために、そうした「??」について、専門の学芸員が楽しく解説する講座です。博物館初心者の方はもちろん、博物館上級者へステップアップを目指しておられる皆様にもおすすめです。

講座は、4回セットでお申し込みいただけます。受講料は4回セットで一〇〇〇円です。(単独での受講はできません)。

お申し込みの開始は四月一八日から、電話でのお申し込みをお願いします。

第1回 6月18日(土)

「入門 雪野山古墳と安土瓢箪山古墳」

細川修平

第2回 6月25日(土)

「入門 湖底遺跡」

藤崎高志

第3回 7月2日(土)

「入門 本能寺の変」

高木叙子

第4回 7月9日(土)

「入門 徹底解説 神像彫刻」

山下立

博物館の主な催し

			企 展 示 室	第2常 展 示 室
4 月	9日(土)	企画展講座 「垂迹曼荼羅の世界」 講師:上野良信氏(滋賀県立琵琶湖文化館) 13時30分~【有料】	2月27日(土) ~4月10日(日) 第53回企画展「琵琶湖 文化館収蔵品特別陳列」	
	29日(金・祝)~5月8日(日)	親子写生大会 10時~16時 【参加無料】		
5 月	1日(日)	春季特別展記念講演会 「信長家臣時代の秀吉」 講師:太田浩司氏(長浜市長浜城歴史博物館館長) 13時30分~【有料】	4月29日(金・祝)~6月5日(日) 平成28年春季特別展 「信長の家臣たち」	5月28日(土)~7月3日(日) 特別陳列 「秀吉の五奉行と関ヶ原合戦」
	3日(火・祝)	春のお茶会 10時~ 定員100名 【お茶・お菓子代】		
	14日(土)	城郭探訪 「観音寺城を歩く」 案内:当館学芸員 【要予約・有料】		
	22日(日)	春季特別展記念講演会 「信長の部将たち」 講師:谷口克広氏(歴史研究家) 13時30分~【有料】		
	28日(土)	城郭探訪 「安土城を歩く」 講師:当館学芸員 【要予約・有料】		
6 月	5日(日)	うつけ茶屋 13時30分~ 【有料】		
	11日(土)	博物館講座 「石田三成と佐和山城」 講師:林 昭男氏(彦根市教育委員会) 13時30分~【有料】		
	18日(土)	連続入門講座① 「入門 雪野山古墳と安土瓢箪山古墳」 講師:細川修平(当館学芸課長) 13時30分~【有料】		
	25日(土)	連続入門講座② 「入門 湖底遺跡」 講師:藤崎高志(当館学芸員) 13時30分~【有料】		

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

前号(おおてみち第94号)の「企画展示室 第52回企画展 大湖北展 伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝」の紹介記事において、「三月経曼荼羅図(舎那院)」の写真を裏焼きの状態でご掲載してしまいました。関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

おおてみち 第95号
平成28年(2016年)3月31日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail : gakuget@azuchi-museum.or.jp URL : http://www.azuchi-museum.or.jp